



## 清原東小学校版「学校と地域の連携推進モデル事業」

### 清原東小における第1回連携会議



スクールガード部会（熟議）

7月13日（水）には、第2回地域協議会兼「頑張る学校・地域！応援プロジェクト」第1回連携会議を開催しました。

連携会議では、「これからの学校と地域連携の方向 ～WITH コロナの視点で～」をテーマに、これからの方向性や活動内容等について熱心に話し合いがされました。その後の部会では、生活サポート部会、スクールガード部会、活動サポート・推進部会の3つのグループに、学校の先生がそれぞれ加わり、「WITH コロナでできること」について協議を行いました。

短時間の協議でしたが、その熱心さから、子供たちに豊かな学びをという思いが、強く伝わってきました。

#### 生活サポート部会

子どもたちに伝えたい清原の歴史や自然に関すること

- 130周年に、各地区にある五穀豊穡をお祈りする天棚を子供たちに見せたい。（過去100周年に実施）
- 子供たちが喜ぶオオムラサキの幼虫探し（2月）を復活させたい。
- 昔の清原の様子を子どもたちに知ってほしい。

#### スクールガード部会

どんな時代でも大切にしてほしいこと

- 登校時に、挨拶の音が小さい。コロナがあるなしに関わらず、挨拶など日常の大切な習慣は、これからも継続してほしい。
- これから暑くなる夏本番に向けて、熱中症対策として、かさを日傘として活用したほうがよい。

#### 活動サポート・推進部会

コロナ禍で中止になった行事に関する運営方法や普段ボランティア活動で感じていること

- 球技大会等の行事をやる方向で考えているが、数年あいてしまったので、運営や準備の方法が分からなくなっている。
- 子供たちは、マスクを外せなくなっている。どのようにしたらこの先外せるようになっていくのか。

### 校内研修（7月28日）を実施しました！！

「学校運営協議会と地域学校協働活動」とは何かをテーマに、一般社団法人とちぎ市民協働研究会 代表理事 廣瀬 隆人 氏（元宇都宮大学教授）を講師にお招きし、校内研修を実施しました。

参加された先生方は、学校を核とした地域づくりとは何か、より良い地域とより良い学校との関係性、地域の担い手育成など、廣瀬先生の熱い講義に何度も頷きながら真剣に受講されていました。また、学校は地域づくりの基礎を養っており、小学校での体験活動の質・量・振り返りや、助け合いや協力などお互い様の人間関係づくりが大切であることを改めて実感していました。さらに、学校と地域の連携・協働活動は、新しいことをするのではなく、現在行っている活動を味付けすることで、主体的で対話的な深い学びになることも理解していました。



校内研修の様子